

謹賀新年

特定非営利活動法人釜ヶ崎支援機構

理事長 山田 實

スタッフ一同



釜ヶ崎支援機構が活動を開始して丸3年が過ぎ、4回目の年改まる日を迎えました。

とりあえず、明けましておめでとうございます。命有って、新しい年を迎えられたことを、お喜び申し上げます。冬の寒さを乗り切り、春の暖かきを迎える日まで、つつがなきことを、祈念申し上げます。生活を支えるには、まだまだ不十分な就労機会ですが、大きく育つ日を楽しみに、今年も共に頑張りましょう。

1月14日から、大阪府の仕事が20人増員となり、3月8日で一旦途絶えるはずであった50人分も3月一杯延長となること、反失連との交渉の中で明らかにされています。多少でも就労枠が増えることは嬉しいのですが、路上死をなくすには不十分です。

大阪府前から大阪市前へと場所を変えた野営闘争は、100日を越え、継続されています。

「野営闘争」は本来、野宿の現実を行政の前に突きつけるという、短期的、有る意味ではイベント的なものでしたが、100日を越えた現在、それは日常と化し、大阪市が公園に設置した「仮設避難所」と比較可能なものとなったといえます。

野営闘争のテントは、市内最大の仮設避難所となっています。設備は貧弱だが、利用者は最大規模です。食事は今のところ3食提供されているし、なによりも、仲間自身の献身的な協力で維持・運営されています。

アルミ缶も、冬の減少期にかかわらず、12月でも一日平均650キロの買い取りが続いています。

野営闘争のテントの長期間にわたる存続そのものが、大阪市の野宿生活者対策の質と量を根底から問うものとなっています。

「萩之茶屋地区住民有志」なる人々は、野宿生活者対策として中途半端な「夜間宿所」は認められない、もっと

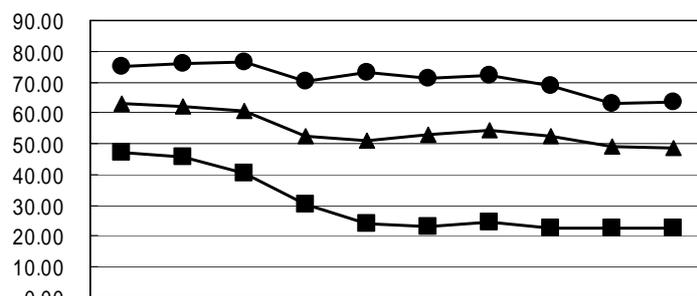
しつかりとした対策をとっているようです。もっともな言い条だと思われませんが、ではどうするかと言うことが抜けていますし、地域内では迷惑だ、余所でやれと言っているのですから、結局、この街から野宿を余儀なくされる仲間を追い出そうと言っているに過ぎません。

「ホームレスの自立の支援等に関する特別措置法」が成立したが、困難な状況が続きます。今年も共にがんばりましょう。

目覚めよ！ 1万5千人、投票率を上げよう、今年こそ 選挙に行こう！

西成区の有権者総数は、2001年参議院選挙の時点で、十万七千人強であった。萩之茶屋の有権者は一万八千人で、西成区の全有権者の一割を超えている。ちなみに、二番目に多いのは千本で九千六百人。萩之茶屋はダントツの大票田というわけだ。しかし、投票率は超桁落ちで、投票率一位の長橋の三分の一、西成区平均の半分しかない。おおよそ一万五千人の票が寝ていることになる。

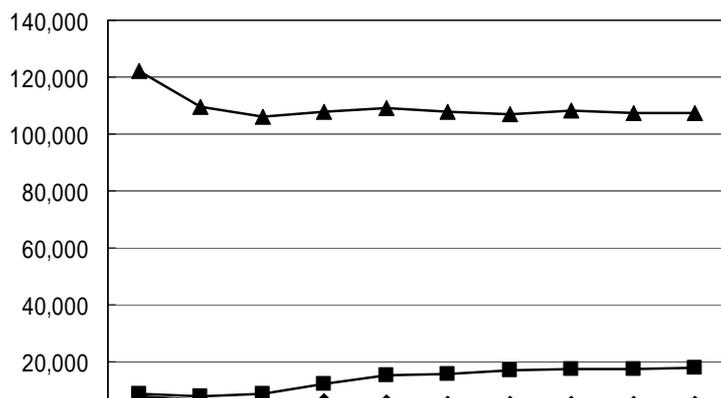
選挙投票率



● 長橋	75.12	76.17	76.51	70.11	73.01	71.46	72.34	69.03	62.87	63.59
■ 萩之茶屋	47.30	45.58	40.34	30.41	24.23	23.23	24.46	22.81	22.59	22.65
▲ 西成区平均	62.87	62.23	60.75	52.51	51.03	52.81	54.16	52.57	48.96	48.44

有権者数が萩之茶屋で増えたのは、白手帳の発行を受けるのに住民票が必要になったことが大きな原因だ。沢山の仲間が手帳をつくるために、住民票が必要なので、西成区萩之茶屋に住民票を移したから、有権者が増えた。また、萩之茶屋地区で生活保護を受ける仲間が増えていることも影響している。

有権者数



手帳さえ確保すればいい、ということではあるが、「地域住民」といえば、町内会に入っている人だけをさし、最大の住民勢力である労働者が無視されている現状を変えるためには、投票率を上げるというのも、一つ

の方法であると思う。野宿して

も、住民票さえあれば、投票することはできる。どの党でも、誰でもいい。投票を。



ホームレス法案でお世話になった鍵田衆議院議員、菅 民主党代表、要 連合大阪副代表(大阪城野営地で、2002年12月27日)

ホームレスの自立を支援

田端案を基に議員立法化

全国に3万人ものホームレスがいるといわれている昨今ですが、なかでも大阪市に集中しています。そこで、西成区在住の私が中心となって法案をまとめ、全党賛成で平成14年7月31日にホームレス自立支援法が成立しました。

この法律は、NPO関係者の意見も十分に反映された内容となっています。特に、「人権」に配慮することを明記し、就労による自立を中心にした対策を求めています。これによって、平成15年度予算から大きく改善されることが期待されています。



ホームレス法案作成
のため現地視察(大
阪・西成区 H14・3
月30日)

田端正広衆議院議員 SSKニュース「新春特別号」